



プログラミング教材が生み出す新しい教育の形

～ロボットを使って何を学び、仕事に活かすことができるのか～

2020年から「プログラミング教育」が小学校に導入されるというニュースを耳にされた方も多いのではないのでしょうか。その教育で期待されているのは「プログラミング的思考」であり、「行動を分解する」「パターンを見つける」「要素を絞り込む」「プロセスを明確にする」といったもので、社会人にとっても重要な内容です。一方でプログラミング教育は「ロボットなどの教材を用いた教育」という認識だけが先行してしまい、「どのように学ばせれば良いのかわからない」という声も多く、まだ教育手法として確立されていません。

今回のワークは実際にプログラミング教材として開発されたロボット「Edison」を体験しながら、この教材を使うことでどのような効果が生まれるのかを考えるとともに、プログラミング教材を用いた社会人向けの研修について設計していきます。(コンテンツから研修内容を設計する方法です)

■ワークショップの目的

本ワークは正解を出すことが目的ではありません。研修設計を行ったり、人材育成のあり方を考えることでその技術を磨き、研修をはじめとした人材育成の質を高めていくためのワークショップです。様々な視点から多くの気づきを得るとともに、効果的な研修を行うための知識や技術を身につけることが目的です。

当日のプログラム(予定)

※ 内容・時間は変更する場合があります。

13:10～【イントロダクション】プログラミング教育とは

13:30～【グループワーク】実際にプログラミング教材「Edison」を使ってみる

15:00～【グループワーク】プログラミング教材を用いた教育の効果を考え、社会人向け研修を設計する

17:15～懇親会(自由参加:別途3000円程度)

日時 2018年11月10日(土) 13:10～17:00

(受付は13:00より)

会場: アットビジネスセンター池袋駅前会議室(本館)

※JR池袋駅東口徒歩2分

定員: 12名 ※先着順とさせていただきます

参加料: コーディネーター会員・一般会員 無料

非会員 3,000円

※当日現金にてお支払いください。

※希望の方には領収書を発行いたします。

お申込み: ホームページよりお申込みください

<http://www.jtca.jp/>

申込締切: 11月9日(金) 20:00まで



一般社団法人日本研修コーディネーター協会(JTCA)とは

日本研修コーディネーター協会は「人材育成プロセスと研修設計」という視点から効果的な人材育成のあり方を考え、そのために必要な知識やスキルを学ぶ場を提供し、組織における人材育成の質を高めることを目的とした団体です。東京と大阪で勉強会を開催しております。事務局 E-mail: info@jtca.jp